

■価格競争を引き起こす2つの要因

- ①個々の企業の力では解決できない外部要因
- ②個別企業の経営政策の失敗によって生じる内部要因

①個々の企業の力では解決できない外部要因

個別企業の力では処置できない外部要因には次のような種類があります。

- 需要と供給のアンバランスによる原因
- 商品の均質化が値下げ競争を助長
- 小売業の安売り競争によるメーカーへの影響
- 値下げ競争を助長するリベート政策

②個別企業の経営政策の失敗によって生じる内部要因

個別企業の力では制御できない価格競争の他に、個別企業の販売政策上の失敗、または欠陥などによって発生する原因もあります。失敗原因の事例として、次のようなものがあげられます。

- パソコンや薬品などの同類製品について、メーカー各社の新製品開発ラッシュが誘発する価格競争
- 眼鏡やクリーニング業のように、過去において高価格政策を続けてきたための価格競争の発生
- 建設業界における公共工事等の脱談合による価格競争の激化
- リベート政策の欠陥から生じる価格競争
- 自社の市場占有率アップを図るための特定地域、全国展開での低価格政策の結果、業界全体が値崩れを起こす場合
- 同業他社が大幅なコストダウンを実現し、安価な商品を販売し始めた場合
- 労働コストの安価な中国および東南アジア方面より、原価安の商品が大量に輸入されだした場合
- 工場の操業度が低く、工場を稼働させるための低価格政策を打ち出したために発生する場合
- 量販店のロスリーダー価格に利用されたため生じる場合
- 理髪業界などで見られる、非組合員の割引価格から生ずる場合